

# 嶺南社保協ニュース

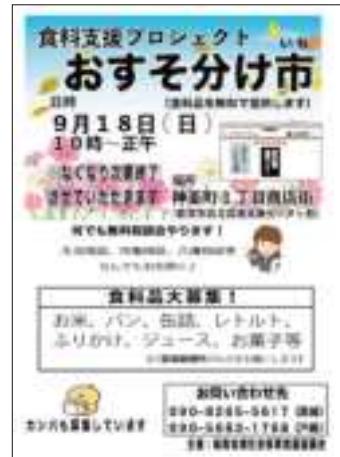
発行：嶺南地域社会保障推進協議会 敦賀市和久野 14-22-1 (0770) 21-7020

## 4回目の食料支援「おすそ分け市」を開催しました

9月18日に神楽商店街の自立促進支援センター前をお借りして、4回目の食料支援「おすそ分け市」を開催しました。

多くの方に食料品、日用品、寄付金などご協力をいただき、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

今回、120人分の食料品をご用意し、みなさまにお渡しすることができました。



回を重ねるごとに利用される方が増え、「おすそ分け市」の開催が浸透し、期待されていることを感じます。



次回は12月00日(日)に開催予定です。ご協力いただける方がおられましたら、どうか、よろしくお願ひいたします。

## 困りごと無料相談会

とき 毎月第3木曜日 10:00~12:00  
ところ 医療生協組合員ルーム「晴ればれ」  
(つるが生協診療所横)



## アンケートから見えたコロナ禍の市民の暮らし

「おすそ分け市」をご利用いただいた方にアンケートに協力していただきました。

ご利用いただいた方の年齢層は幅広く、お住まいも粟野地区が29%おられますですが、ほぼ市内全域にわたります。

チラシを見た、知人から聞いたという方が多く、「社保協からの案内を見て来た」というリピーターも増えています。

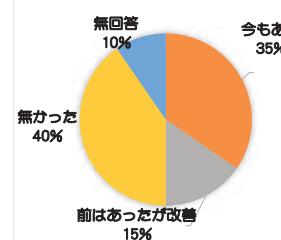
仕事は、50代までは、正規雇用が41%、非正規雇用が34%、無職も16%でした。60代以上では、年金生活の方が65%、非正規雇用、自営業などで働いている方があわせて10%でした。

コロナ禍の影響では、今も影響がある方は35%で、「今も収入が減っている」「体や心が不調」とのことでした。

その他の困り事として、「物価があがった」「コロナの感染者ができるたびに学校が休みになり、仕事に行けない」などが寄せされました。

必要な支援として、「食事の支援」が一番多く、その他の必要なサポートして、「年金を増やして欲しい」などあげられ、少ない年金で暮らす高齢者の切実な暮らしぶりがわかりました。

### コロナの影響



### 必要な支援（複数回答可）

